
終日

織田みずい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終日

【Nコード】

N9773A

【作者名】

織田みずい

【あらすじ】

お互いの境界線に指先だけ触れる、終日そんな世界を眺め、そつと踏み込む僕。

1日目

金子犀春21歳。

「金子…何はる？」

「さいはるです」

「ふうん、じゃあ今日からよろしくね」

「はい……つてええ?!」

面接を受ける会社すべて落ち、妥協に妥協を重ねてたどり着いたのがここ『change-able』。若い人材を求めていると聞き付け、どんな会社か聞かずに飛び出した。まあそれくらい必死だったのだ僕は。行ってみれば会社というか事務所のような小ささ。でっかいビルとビルに挟まれていた。面接には山倉さんという長髪を束ねたラフな格好の男の人ひとりで、今までのようなぴしっとスーツを着て厳しい顔付きのおじさんがずらり、なんてことはない。そもそも部屋が狭いし汚い。山倉さんは書類の束で埋まるデスクの下からぎしぎし軋む椅子を引っ張り出し、よっこらせと腰かけた。その後ちよこちよこ質問されそれに答え、少し黙ってから場面は冒頭に戻る。

「そ、そんな簡単でいいんですか？」

「いーのいーの。君若いし、器用そうだから」

「あ、ありがとうございます…!…ところで、」

ここってどんな会社なんですか？そう発した筈んだけど僕の耳には届かなかった。扉の向こうでぼがんと小気味良い爆発音が鳴り響いたからだ。

「ななななんですか今の…!!」

「気にしないでー」

あははと笑う彼が怖い。僕はやっていけるだろうか。またさっきよ

りは控え目な爆発の音と女の子の小さい悲鳴が聞こえた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9773a/>

終日

2011年1月16日06時08分発行